

生涯学習スポーツ部

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和元年度(2019年度)事業)

事業名	教育委員会後援名義使用承認に関する事務				事業類型	その他				
担当部課	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課									
基本計画	編	3	章	4	施策番号	24	豊かな心を育む市民文化の振興	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	—	—
根拠法令等	後援名義申請に関する事務取扱要領									
事業目的 (最終的に目指す状態)	市民文化活動の振興を図るため、企業・各種市民団体の文化・芸術活動の支援を行う。									

事業の人員体制

	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.20人	0.20人	0.15人	△ 0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.20人	0.20人	0.15人	△ 0.05人

指標

	指標名	単位	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 申請団体件数	件	179	170	183	13	—
②							
③							
④							

事業実績

元年度目標	企業・市民団体による文化芸術活動を市民に周知することにより、文化芸術に触れる機会を増やし、生涯学習環境の充実を図る。	30年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	合計183団体の後援名義の申請を受けた。	課題への対応	—
元年度評価	達成	次年度(3年度)以降の展開	現状維持

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和元年度(2019年度)事業)

事業名	高尾599ミュージアム					事業類型	その他			
担当部課	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課									
基本計画	編	3	章	4	施策番号	25	市民が誇れる歴史と伝統文化の継承	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	—	—
根拠法令等	—									
事業目的 (最終的に目指す状態)	平成27年度に開業した「高尾599ミュージアム」において、稲荷山行政資料保管等施設で管理する動物剥製等を常設展示する。 (旧事業名:高尾の里)									

事業の人員体制

	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.05人	0.05人	0.00人	△ 0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.20人	0.20人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.05人	0.05人	0.20人	0.15人

指標

	指標名	単位	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	活動指標	貸出回数	回	1	1	1	0	—
②	成果指標	資料貸出点数	点	54	54	54	0	—
③								
④								

事業実績

元年度目標	<p>収蔵資料の一部を引き続き高尾599ミュージアムに貸与し、適正な管理をするとともに、展示資料のキャプション更新等を適宜行う。</p>	30年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 動物剥製、動物全身骨格及び鳥類模型 計54点を展示資料として貸与中。 その他の動物剥製、植物標本等を企画展等で使用可能か、高尾599ミュージアムと調整した。 	課題への対応	—
元年度評価	達成	次年度(3年度)以降の展開	現状維持

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和元年度(2019年度)事業)

事業名	文化教育(伝統文化親子教室事業補助金)				事業類型	その他				
担当部課	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課									
基本計画	編	3	章	4	施策番号	24	豊かな心を育む市民文化の振興	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	—	—
根拠法令等	文化芸術振興費補助金(伝統文化親子教室事業)交付要綱									
事業目的 (最終的に目指す状態)	次代を担う子供たちが親とともに、伝統文化・生活文化に関する活動を計画的・継続的に体験・修得する機会を提供することにより、伝統文化・生活文化の継承と、子供たちの感性や創造力の涵養に資することを目的とする。									

事業の人員体制

	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.05人	0.10人	0.15人	0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.05人	0.10人	0.15人	0.05人

指標

	指標名	単位	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 申請団体数	件	16	16	23	7	—
②							
③							
④							

事業実績

元年度目標	伝統文化親子教室開催関係団体への周知、申請の受付・取りまとめ・実績報告書の作成を行う。	30年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	合計24件の申請を取りまとめて東京都に送付した。	課題への対応	—
元年度評価	達成	次年度(3年度)以降の展開	現状維持

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和元年度(2019年度)事業)

事業名	TOKYO八峰マウンテントレイル				事業類型	イベント		
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課							
基本計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと創生総合戦略
根拠法令等	スポーツ基本法 八王子市スポーツ推進計画							
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子市の豊かな自然環境を活かし、地域の魅力発信とともに「東京都自然公園利用ルール」に則った象徴的なトレイルランニング大会を実施する。この大会を通じて、トレイルランナーにおけるルール・マナーの啓発を行い、意識の高いランナーの育成を図る。							

事業の人員体制

	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.15人	0.98人	0.60人	△ 0.38人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.15人	0.98人	0.60人	△ 0.38人

指標

	指標名	単位	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 開催日数	日	1	1	0	△ 1	台風19号によるコース被害のため中止
②	成果指標 参加者数	人	893	930	0	△ 930	台風19号によるコース被害のため中止(申込者918名)
③							
④							

事業実績

元年度目標	参加要項などによるルールの啓発の継続実施 大会に参加することで、恩方地域などの観光地の周知を図る	30年度末時点の課題	引き続き、トレイルランナーに対してルールの啓発を行い、意識の高いランナーを育成 スタート地点の恩方地域をはじめ、八王子の観光地の周知
目標に対する事業実績	台風19号によるコースへの被害のため開催中止 申込者数918人 参加要項において、ルールを啓発した。	課題への対応	募集時にトレイルランナーに対してルールの啓発を行った。 中止となったため、今後も引き続き啓発するほか、スタート地点の恩方地域をはじめ、八王子の観光地を周知する。
元年度評価	不十分	次年度(3年度)以降の展開	未解決 現状維持

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和元年度(2019年度)事業)

事業名	スポーツ推進計画の進行管理				事業類型	内部事務				
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課									
基本計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-
根拠法令等	スポーツ基本法									
事業目的 (最終的に目指す状態)	スポーツ基本法第10条第1項に基づき策定した計画を、本市の基本構想・計画「八王子ビジョン2022」の個別計画として位置づけ、八王子市のスポーツ推進施策を具体化するとともに、他の関連計画との連携を図りながら生涯スポーツ社会を実現する。									

事業の人員体制

	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.15人	1.40人	0.80人	△ 0.60人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.15人	1.40人	0.80人	△ 0.60人

指標

	指標名	単位	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①							
②							
③							
④							

事業実績

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 計画の改定版を策定 計画の進行管理 	30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 計画の中間見直しの実施 計画の進行管理
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 計画の改定版を策定 計画の進行管理 計画の進捗状況を全庁に照会 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に行ったスポーツ推進審議会からの意見聴取やパブリックコメントを経て、7月に改訂版を発行。 全庁に照会し、計画の進行管理を行った。
元年度評価	達成	次年度(3年度)以降の展開	解決 現状維持

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和元年度(2019年度)事業)

事業名	共催事業				事業類型	イベント				
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課									
基本計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-
根拠法令等	スポーツ基本法 八王子市スポーツ推進計画									
事業目的 (最終的に目指す状態)	各種大会等をスポーツ・レクリエーション団体等との共催により実施することで、生涯スポーツの振興と団体の自立・発展の促進を図ることを目的とする。									

事業の人員体制

	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.07人	0.10人	0.35人	0.25人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.07人	0.10人	0.35人	0.25人

指標

	指標名	単位	29年度	30年度(a)	元年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①							
②							
③							
④							

事業実績

元年度目標	スポーツ・レクリエーション団体等との共催により実施し、生涯スポーツの振興と団体の自立・発展の促進を図ることを目的とする。	30年度末時点の課題	スポーツ・レクリエーションを通じた地域の活性化
目標に対する事業実績	少年野球大会、市民卓球選手権大会、市民サイクリング、市民インディアカ大会、夏山登山入門、八王子市市長杯争奪ネオテニスオープン、市民ネオホッケー、市民スケート教室(新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止)、市民ネオテニス大会、元プロ野球選手による野球教室	課題への対応	スポーツ関係団体と連携し、市民がスポーツを行う機会や交流の機会の創出に努めた。
			解決
元年度評価	達成	次年度(3年度)以降の展開	現状維持